

取組紹介

2

「仲間力」を社内のバリューとして 定着させ社員の一体感を醸成

取組内容

- 「世界でいちばん人を想う会社になる。」というビジョンを掲げ、各種施策から生まれた「仲間力」や「仲間想い」を大切にしています。
- 全部署で月1回業務の棚卸を実施し、業務配分の見直しなどを行っています。また、部署間での業務連携を行い、労働分配することで、業務の停滞を防いでいます。
- 毎月30分の1on1ミーティングで業務以外のテーマも取り上げ、上司と部下の相互理解を深めています。
- シャッフルランチを企画し、社内全体のコミュニケーションを深めています。
- 社員の意見を「目安箱」を設け、投稿された意見は管轄部署で協議し、検討結果を社内全体に共有しています。

取組による効果

- 「仲間力」、「仲間想い」は社員から出た言葉で、LWBを推進するうえでの合言葉となっています。
- 女性の育業取得率100%となっており、安心して産休に入り復帰が出来る風土があります。
- 1on1で上司と部下の意思疎通が進み、業務にも好影響を及ぼしています。
- 部署を超えて交流が進み、全社的な一体感が醸成されています。
- 社員の意見に対し迅速かつ適切に対応することで、相互の信頼感が増えています。



取組紹介

3

心身共に健康な組織づくりへ向け、 社内委員会を中心にユニークな取組を多数実施

取組内容

- 社内に健康推進を担う委員会を設け、健康増進施策を多数企画しています。運動頻度や睡眠、姿勢などについてもアナウンスし、健康管理を推進しています。
- 毎朝のラジオ体操や年3回のスポGOMI(ごみ拾いウォーキングイベント)を実施しています。ヨガクラスへの参加も会社が費用を一部負担し参加を推奨しています。
- 社員の食生活にも配慮し、腸活ドリンク、社食の導入を行っています。
- 法定規模外ながらストレスチェックを行い、社員のメンタルヘルスの状態を定期的に確認しています。

取組による効果

- 健康増進活動により社員の健康意識が高まり、積極的に取り組んでいます。
- 様々なイベントへの参加により社員の健康が増進しています。
- 腸活ドリンクの導入により、健康への関心も高まっています。
- ストレスチェックでメンタルヘルスの状態を定期的に確認し、不調が確認された場合は早期に対応しています。
- 心身共に健康な生活を送る社員が増え、業務や私生活にも前向きに取り組んでいます。



ライフ・ワーク・ バランス EXPO東京 2025

社員と共に創る、企業の未来



株式会社FIS

合言葉は「仲間力」！
社員と一体となり生活と仕事の両立を推進





株式会社FIS

合言葉は「仲間力」！
社員と一体となり生活と仕事の両立を推進

会社概要

代表者名： 代表取締役 立見 秋司
創立（創業）： 2006年
所在地： 東京都新宿区西新宿6-24-1
西新宿三井ビルディング13F
TEL： 03-6911-2094
FAX： 03-6911-2095
従業員数： 55名（うち正社員数47）
URL： <https://flex-ins.co.jp/>
事業内容： 少額短期保険サービスの提供



目的・理念

世界でいちばん人を想う会社を目指し、
社会に“あんしん”を創造し続ける

私たちの会社は、お客さまに感動を届け、一人ひとりがあたりまえの幸せを未来へつないでいく社会の創造を目指すことを使命に掲げ活動しています。
そのためには、一緒に働く仲間が生き活きと活躍し、持てる能力と個性を発揮できることが必要であると考え、様々な取り組みを行っています。

経営者からのメッセージ

当社は、「世界でいちばん人を想う会社になる。」ことを会社のVISIONに、多くのお客さま、お取引先さまの支えを大切に紡いで17年の社歴を重ねてまいりました。「[あたりまえ]の幸せをつなぐ」という企業PURPOSEを掲げ、私たちは、一人ひとりが願うあたりまえの幸せに寄り添い、明日へつないでいくことを使命に、日々奮闘しております。その社会的使命を果たすために、我々がもっとも大切にしているのは誠実な心です。「心」を中心に考えることで、柔軟な発想ができ、個々の違いを尊重しながら、新しい価値を一緒に生み出せると考えています。そのためにも、一人ひとりが、自らの可能性を信じて挑戦し、自己を成長させる。そして、お互いを尊敬し、それぞれの個性を掛けあわせ、一人ではできないことを成し遂げる。そのような職場と企業風土を創造することで、社員の成長を後押しし、会社の成長に繋がっていきます。



代表取締役 立見 秋司

取組の経緯・背景

当社は創業以来、企業使命である「あんしんの「しん」になる」を実現するために、唯一無二の「仲間」と支え合い、共に歩み続ける組織文化を築いてまいりました。
新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、インフラを守る企業としての使命を再認識し、従業員が安心して活躍できる組織をつくることこそが、お客さまの「あんしん」を支えることにつながると強く感じました。
この気づきを契機に、リモートワーク制度の導入や多様な勤務体系・休暇制度の整備、定期的な1on1ミーティングの実施、さらには健康イベントの企画運営を進め、年齢や性別に関係なく、誰もが活躍できる環境を整えています。



従業員の声



- コロナ禍で全員がリモート環境で業務をする中、不安を感じていましたが、雑談の推奨やリモートイベントのおかげで、テレワークでの業務効率も上がりました。
- シャッフルランチなど他部署との交流機会が増え、コミュニケーションが深まり、業務にも良い影響が出ています。
- 20代なので健康についてあまり気にしていませんでしたが、会社が健康促進の機会を設けてくれることで、食生活や運動習慣に関する意識が高まりました。

取組紹介

1

多様な勤務体系と休暇制度を多数導入し
生活と仕事の両立を手厚く支援

取組内容

- 全社員を対象に、テレワークと出社のハイブリッド勤務制度を導入しています。社員には自宅でも会社と同じように仕事ができるよう、自宅用のPCも支給しています。
- コミュニケーションツールの導入やリモートイベントの企画、雑談の推奨を通じ、コミュニケーションの強化を進めています。
- 短時間正社員制度を設け、フルタイムで働くことが難しい場合でも正社員として働ける環境を整えています。
- 夏季休暇として付与される3日間の特別休暇に加え有給休暇を取得することで最大10日の長期休暇が取得可能です。
- 配偶者の出産時には有給で3日間の特別休暇が取得できる制度を設け、男性社員が子育てに参加しやすい環境を整えています。
- 子の看護休暇の対象年齢を引き上げ、小学校6年生までの子を養育する従業員に対し子供1人につき5日、2人以上で10日の有給休暇を付与しています。

取組による効果

- 自宅でも会社と同じ環境で仕事ができるため、育児や家庭の都合でオフィスへ出勤できなくても、効率よく業務を進めることができます。また特別な理由がなくても、全社員がテレワークを実施することができ、プライベートとの両立が可能です。
- 多様な施策により、コミュニケーション不足が解消されています。
- 特別休暇や有給休暇を活用し、長期休暇が可能なため心身共にリフレッシュできます。
- 育児や看護に関する休暇が幅広く、柔軟に対応できています。

